

～ 2025年12月賞与に関する労使協議会を開催しました ～



■11月10日(火)に、『2025年12月賞与』に関する労使協議会を開催しました。要求に先立ち、11月3日(月)には支部大会を開催し、組合(案)は満場一致で可決されています。要求の結果、2025年12月賞与は**組合要求通りの満額回答**を頂いています。

2025年12月賞与

社員 ステージB	評価	一律				
	支給ヵ月	1.00				

社員 ステージC	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.25	1.15	1.05	0.95	0.85

メイト 社員	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.45	1.25	1.15	1.05	0.85

エルダー スタッフ (F・S)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.30	1.10	0.90	0.70	0.50

エルダー スタッフ (P)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.00	0.80	0.60	0.40	0.20

※支給細則など詳細は組合HPより議案書を確認ください ⇒⇒
 ※支給日：2025年12月5日(金)



11月3日(月)支部大会

■大会代議員のコメント

- ・ 上期は悪くない業績であったが、年間黒字化&予算達成に向けては楽観視できない状況であり、12月賞与要求の組合案が前年同水準であることは納得できる
- ・ ここ数年賞与は最低限の水準支給が継続している26年6月の賞与は、水準が回復される労使交渉を期待する
- ・ 直近では出向の取り組みが進んでいる。出向にいくメンバーはもちろん母店で勤務するメンバーが不安にならないように、会社としてメンバーへ対する、会社からの丁寧な情報共有・発信を引き続きお願いしたい



■支部執行委員長 工藤のコメント

- ・ 満額の回答をいただきましてありがとうございます
- ・ 三越・伊勢丹が統合して賞与における生活給という観点があり強まり、コロナ前は『年間2.5ヵ月』を最低限確保していたが、コロナ禍などによる業績不振により、ここ数年は過去最低限確保してきた水準へ回復できない状況が続いており、組合として課題と捉えている
- ・ また、現在は都度交渉という枠組みの中で賞与協議・支給がされており、メンバーの皆さんに安定して賞与を支給をしていく上では、賞与制度に則った労使協議をいち早くおこなっていくことが重要である
- ・ メンバー全員が仙台三越の業績を向上させて賞与も回復・向上させる、という気概がもてるよう、労働組合としてもメンバーの皆さんと現場活動をおこなっていききたい

11月10日(月)労使協議会

■代表取締役社長 小宮さんのコメント

- ・ 仙台に着任して4年目になるが、商売や業績として成果が出せず、また、賞与を回復しきれない状況が続いていることに、経営として申し訳なく思っている
- ・ 今後の賞与回復に向けては、賞与制度に則り皆さんに賞与を支給していくことや、全員で賞与を勝ち取っていく方向性は、労使同じ思いであると思う
- ・ 上期はほぼ計画通り業績が推移しており、10月もよい形で下期商売のスタートができた。今年度の残り下期は大きい売上・利益を生み出す時期になるため、全員で乗り越え、年間賞与水準の回復ができるようにしていきたい



〈労使協議会〉
 11/10(月)11:00～ 仙台三越定館6階大会議室

参加者	会社	小宮	森川	千葉	森川	組合	工藤	真山	若山	※敬称略
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------